

## 山田中学校・東兎中学校 再編準備委員会 第5回総務部会 会議録（要点筆記）

- 日 時 令和7年12月23日（火）18:00～18:45
- 場 所 山田公民館 大会議室
- 出席者 ○部会委員  
南條亜衣子部会長 難波くるみ副部会長 三宅智美委員 奥仁美委員  
飯沼佳代委員 渡部利枝委員 一守行将委員 合田優子委員 大山都委員  
石原路子委員  
(欠席者：松岡栄治委員)
- 事務局  
学校再編推進課 課長 森真志、参事 清山智保、主査 久富香
- 傍聴者 なし

### 1 開会

### 2 議事（要綱第8条に基づき、南條部会長が議事進行を行う。）

#### (1) 「校歌」について

部会長： 事務局から説明をお願いします。

##### ▶校歌フレーズ募集について

事務局： 【資料1・2】により説明

今までの協議内容を反映した募集要項と、要項を抜粋したチラシを作成している。どちらもホームページに掲載し、募集を年明けに開始する。

部会長： 意見・質問はあるか。

(意見等なし)

部会長： それでは、事務局の説明どおり年明けに募集の開始をお願いしてよいか。

(一同異議なし)

#### (2) 「校章」について

部会長： 続いて、「校章」について、事務局からの説明をお願いします。

##### ▶校章デザイン募集について

事務局： 【資料3・3-1・4・4-1】により説明

今までの協議内容を反映した募集要項と、要項を抜粋したチラシ、現在の校章や校舎、玉野市の案内ページなどをまとめたもの、応募用紙を作成した。こちらもすべてホームページに掲載し、年明けに応募開始予定である。

部会長： 意見・質問はあるか。

委員： 募集初日が始業式より前となるので、明日生徒に伝えてよいか。

事務局： お願いします。

部会長： 他に意見等はないか。

(意見等なし)

部会長： それでは、事務局の説明どおり年明けに募集の開始をお願いします。

▶校章デザイン選定要領について

事務局： 【資料5】により説明

事務局案として作成している。学校名の選定要領と、選定方法については同じ流れとした。宇野・玉・日比の総務部会で、「2 選定基準の(3)『様々な用途で』」は、具体的に示されていた方が、一般向けにわかりやすい。という意見が出たので、次回修正して提示させていただく。

部会長： 意見・質問はあるか。

(意見等なし)

部会長： 意見がないので、次回に正式な「校章デザイン選定要領」を示していただくことでよいか。

(一同異議なし)

(3)「閉校式」について

部会長： 続いて、「閉校式」について、事務局から説明をお願いします。

事務局： 【資料6】により説明

閉校式典、閉校記念事業、イベントなどで行う内容について整理し、他市事例などを踏まえ、式典の開催手法によるメリット、デメリットについて資料に従い説明する。開催手法についてご意見をいただきたい。

情報提供であるが、先日の宇野・玉・日比の総務部会では、5校合同で閉校式を行うことに意見がまとまった。こちらの部会での協議結果が異なる場合は、3校合同で行うという結果となった。

部会長： 各委員の意見を伺う。

委員： 各校単独実施の場合、教職員にどのような負担があるか。

委員： 式典は、お別れ会のような生徒主体となるものと違い、卒業式並の会場準備が必要で、鉾立小の休校式では、来賓が30人以上来られた。

生徒もかしこまらなければならず、教頭を中心に教職員の段取りにも負担感がある。

委員： 鉾立小の休校式は、単独実施してよかったのか。地区のOBで思い入れの強い方はとても多く、単独実施の声が上がると思うが、教職員の方に負担があるなら地域に協力をお願いすることが可能であるのか。

委員： 個人の意見だが、合同実施だと式典準備・来賓については、市の主催で実施となる。お別れ会は、同窓会長や生徒の考えで心温まる楽しい会となると考える。

山田・東兎のどちらも地域が温かいので、生徒が実行委員をすれば惜しまず協力してくださると思うし、閉校する学校は特に、地域の方と一緒に考えて学校じまいの会ができたなら、というのが2校長の共通見解である。

小学校とは違い、中学生は自分たちで企画ができ、そうすることで、次のステップにもつながると思うが、式典の企画となると、卒業式を仕切るような意味合いとなってしまふ。合同閉校式で式典を行い、お別れ会は地域とともに、平服で気楽に心温まる会にする方がよいかと思う。

委員： 合同にすれば、そこまで負担がなく行えると思う。地域の方がどう考える

かはわからないが、市としては合同が一番合理的なのか。

事務局： 市としては、地域や学校、保護者の皆さんが望む形で行いたいので、こうして総務部会で協議していただいている。

委員： 合同で式典を行う場合も、山田と東児はお別れ会をしてくれるのか。

委員： そのとおりだ。生徒、保護者、地域にとって、わいわいと自由な感じで行う方が一番よいと思う。生徒も最後に頑張れたという成果を残せる。

委員： お別れ会は、来賓も自分たちで選べるのか。

委員： 同窓会とも相談となる。

委員： 同窓会に手伝ってもらうことも可能となるのではないか。

部会長： 東児地区からは意見がたくさん出たが、山田地区の委員はどうか。

委員： 事前に校長に話を聞いたが、合同で式典をした場合には、生徒はもちろん地域の方も実行委員としてお手伝いして下さる方がたくさんいるので、一緒に考えていけたらと考えているとのことだった。

委員： 生徒が少なく、3年生は受験もあり、子どもの企画や、地域の協力のお願いがどの程度出来るかなどはあるが、山田中の場所で、何かしたいという人はたくさんいらっしゃると思う。

委員： 在校生が少なくても、地域の方は協力して自分たちで、という気持ちはあると思う。是非なくなる学校の場所でお別れ会はしたい。

以前に他県で閉校式に招待され参加したことがあるが、生徒数は一桁だったが、とても心温まる会だった。合同で式典を行う場合でも、是非お別れ会は学校でして欲しい。

委員： 教員たちも、地域の方の思いがあるので、お別れ会は必要と感じている。

委員： コミュニティを通じて地域に手伝ってもらえるはずなので、お別れ会の学校の負担は大きくないはずである。式典は合同でよい。

委員： 閉校式を合同で行うと伝わる前に、お別れ会はそれぞれの学校で行うことを事前によく伝えておかないと、誤解を招いてしまう。

委員： 独自のお別れ会をすることは、伝えてもらって構わない。

部会長： 他に意見はないか。

(意見なし)

部会長： それでは、意見が出そろったので総務部会としての意向を確認する。

閉校式は、5校で合同実施の声が多いので5校合同実施でよいか。

(異議なし)

部会長： それでは、5校合同実施とする。最後に今まで決めたものの他、協議しておくべき内容があれば意見をいただきたい。

(意見なし)

部会長： それでは、協議する内容はこれで終了する。